

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.9」

2021年のスタートを飾る完成！この仕上がりをぜひ店頭でお確かめください。販売価格 748,000円(税込)

車体は「メタリックレッド塗装」 側面ゴールド帯・均等なライン・ロゴマークは「印刷仕上げ」
「前面ロストワックス」と「成型品による前面ガラス」の合わせは「精度抜群な仕上がりがり！」





特徴を捉えた「前照灯・標識灯・尾灯」は全て「LED点灯」です！



3号車の「喫煙室」は「新規テーブル」を製作して再現しました！



最後に記念撮影！
近鉄特急の共演もお楽しみください。
※近鉄 50000系「しまかぜ」は販売終了品です
最後まで「STORY」をご覧いただきまして誠にありがとうございました。

KTM
近畿日本鉄道㈱商品化許諾済

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.8」

中間車は「窓ガラス」「座席」「床下機器」を取付け完成しました。後は先頭車の完成を待つばかりです！



クーラーはつや有り塗装でつや無しの屋根上に搭載するとその造形が一段と際立ちます。



普通席は明るいグレー系！シートカバーはネイビー系！

4 特別全席指定 大阪難波



窓枠・窓柱はシルク印刷
ガラスはグレー系
ガラスは大きく室内がよく見えます。行先表示は「大阪難波」を貼付します！

KTM

近畿日本鉄道特産品化許諾申請中

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.7」

車体裏側に潜入！室内灯などの電装部品を取付けました。「ひのとり」マークも仕上がり、プレミアムシートは塗装完了！



先頭車のココに注目！先頭車は構造上、屋根裏の溝に室内灯基板が隠せるため「新設計の室内灯支え」で取付けます



「チップ型LED室内灯」を取付け！



床は赤色系で塗装します

「ココ注目」室内灯など「ちびつき防止」のためコンデンサーを取付け！

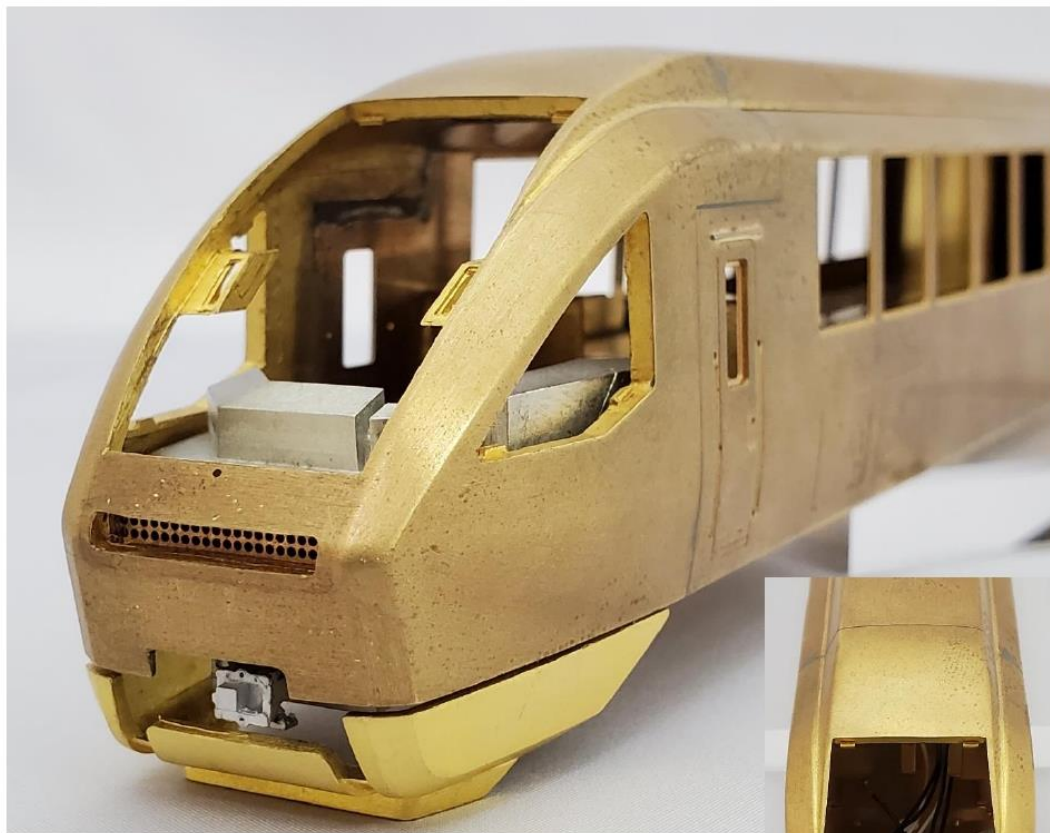


KTM

近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中

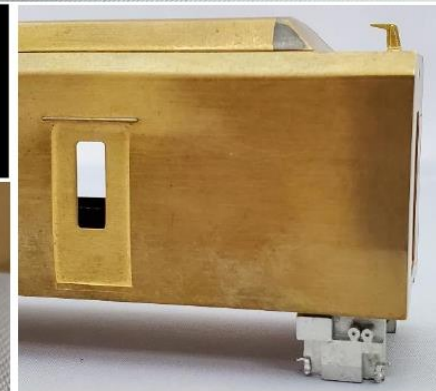
近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.6」

先頭車の「運転台」「スカート」「ダミーカプラー」などの部品が出来ました。印刷工程は「車椅子マーク」を忠実に再現！

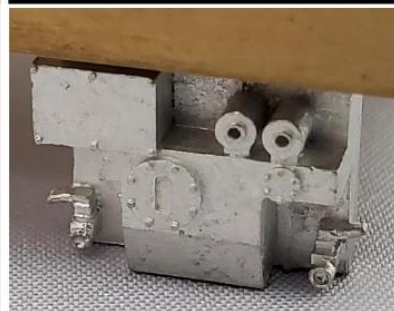


車体外部座席案内表示にも小さな「車椅子マーク」が見えます！！

汚物処理装置はソフトメタル製で新規設計！そのソフトメタル部品は6両編成で41種類。約140個使用します！！



- ①ヘッドライト穴板も忠実に再現！
- ②ダミーカプラーはソフトメタル製にて新規設計！
- ③重厚感あるスカートはロストワックス製！
- ④運転台の中央に椅子を設置！
- ⑤只今、前面成型品ガラスとの合わせを確認中！



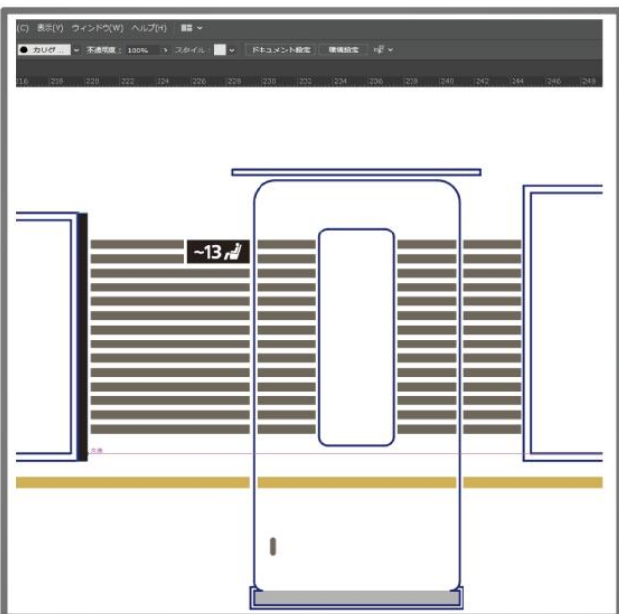
KTML
近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.5」

中間車の塗装が順調に進み、側面の「印刷工程」に入りました。ゴールド帯も「綺麗な直線」に仕上げます！

車体色「メタリックレッド」、屋根・妻板部分「黒灰色」の塗り分けも綺麗に出来ました。

この後「直線に引かれたゴールド帯」や「ドア周りに描かれた均一なライン」を「印刷工程」で仕上げていきます。



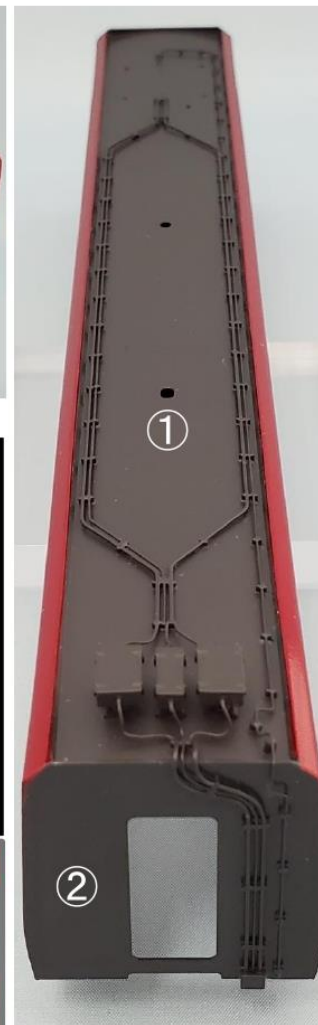
設計図を基に「デザイン担当」がその色調を確認。数ミリ単位で作成するデータ技術から綺麗な印刷仕上げとなります。

ドア周りに描かれた均一なライン！
車体外部座席案内表示、靴づりも印刷仕上げ



<注目ポイント> 窓枠塗装の横に色違いの縦ライン↓を印刷。細かな違いも再現しました。印刷がゆえの“技あり”工程でした！

黒灰色の仕上げも異なり
① 屋上は「つや消し」
② 妻板は「つや有り」で
再現します。



KTM

近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.4」

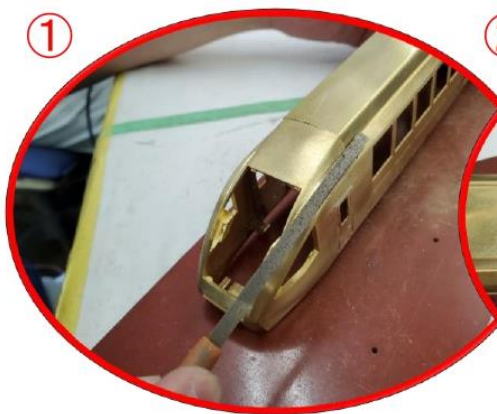
前面ロストと車体のハンダ付が始まりました。前照灯・尾灯等の仕様も決定！その様子を製造現場からレポートします。

前面ロストと車体のハンダ付けは「工法の違いから生じる段差」や「ハンダ跡」をいかに滑らかに仕上げるかがポイント！その状況に応じた「ヤスリ」を使用して丁寧に仕上げます。



尾灯・標識灯は専用基板で前面ガラスの内側から点灯させます

前照灯イメージ(東武 500 系)
丸穴のエッチング板の裏から点灯させます



KTM

近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.3」

製作は次のステップへ！先頭車エッチングプレス車体。中間車は配管の取付けとクーラーの製作。車体色も決まりました！

先頭車は「ハイデッカー」仕様！

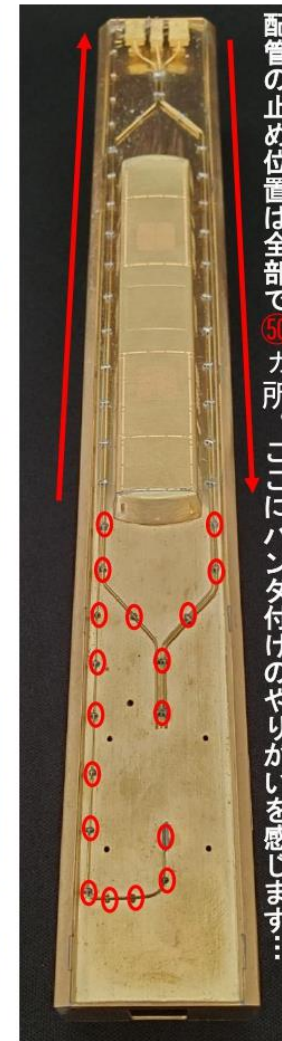


一体曲げ工法で車体が出来ました。乗降ドアは凹表現からの塗装仕上げです。この後、前面ロストとの接合が「ハンドメイド」の見せ所！次回はその姿をお伝えします。



ヒューズ箱からの配管も奇麗に決まりました！

※モ80200(M1)



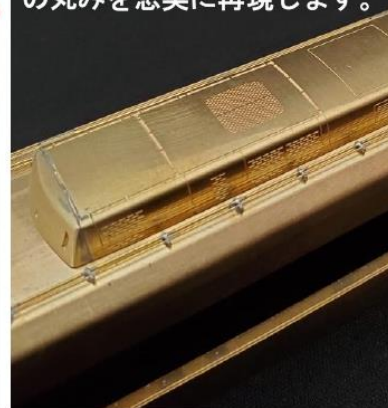
配管の止め位置は全部で50カ所。ここにハンド付けのやりがいを感じます…

車体色の「メタリックレッド」が決まりました！



試行錯誤を繰り返し発色の良い色に仕上げました。グレー色の下地から本塗装を行い、最後にクリア塗装で仕上げます。

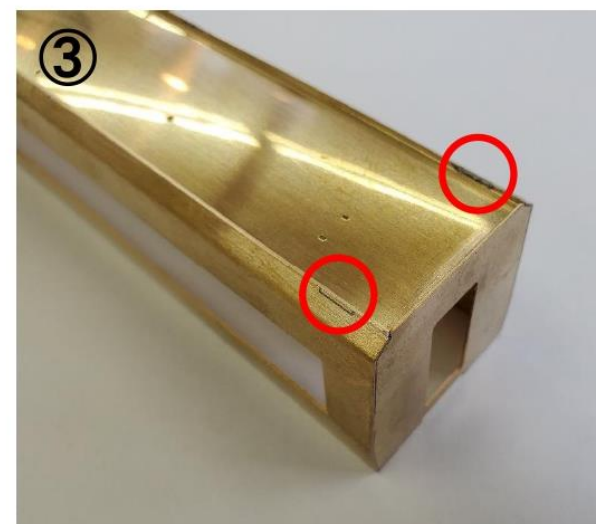
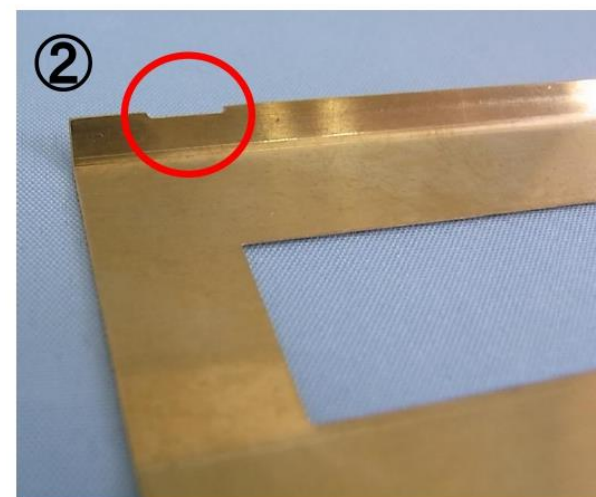
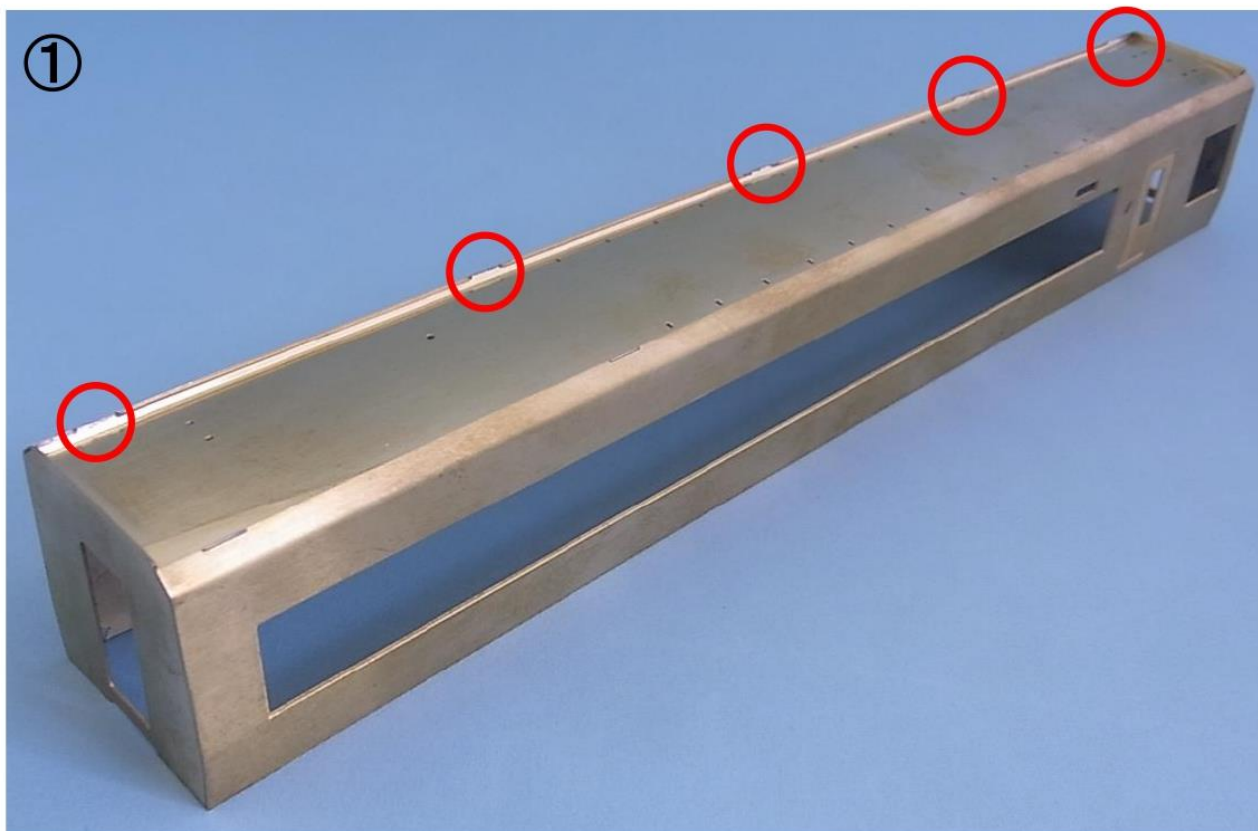
クーラー本体は「エッチング製」。端部は「ロスト製」でその丸みを忠実に再現します。



KTM

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.2」

中間車のハンダ付けは「側面＋屋根＋側面」の3体構造。これにより「側面より一段下がった特徴ある屋根」を再現しました！



<ハンダ付けのポイント！>

3体構造の車体をいかにバランス良く組み上げるかが中間車のポイント。今回は側面と屋根の接合箇所に「側面は凹・屋根は凸」の位置合わせを付けハンダ付けします(画像②) その箇所は片側5カ所ずつあります(画像①) これにより綺麗な接合ができ「一段下がった特徴ある屋根」を再現していきます(画像③) 完成品では見ることの出来ない仕掛けが「価値ある製品作り」に繋がる“STORY”でした。次回もお楽しみに…！

KTM

近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中

近鉄80000系「ひのとり」 「HINOTORI STORY Vol.1」

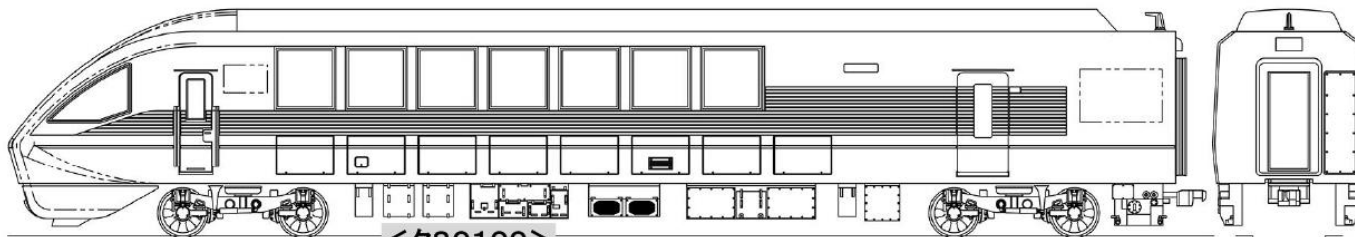
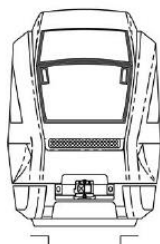
「観光特急・しまかぜ」に次ぐ「新型名阪特急・ひのとり」の模型作りがスタートしました！発売までその魅力をお伝えします！

①車体<エッチングプレス製>先頭車は「一体曲げ工法」で特徴あるハイデッカー車を再現・中間車は「側面+屋根+側面」の3体構造！「ハンダ付けの技術力」で製作します。

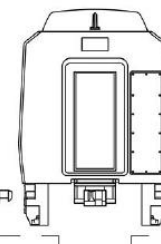
先頭車と中間車で異なる妻面のデザインも忠実に再現します。車体色の「メタリックレッドは塗装仕上げ」、「ゴールド帯、ロゴマークなどは印刷」で再現します。



<②参考:しまかぜ>

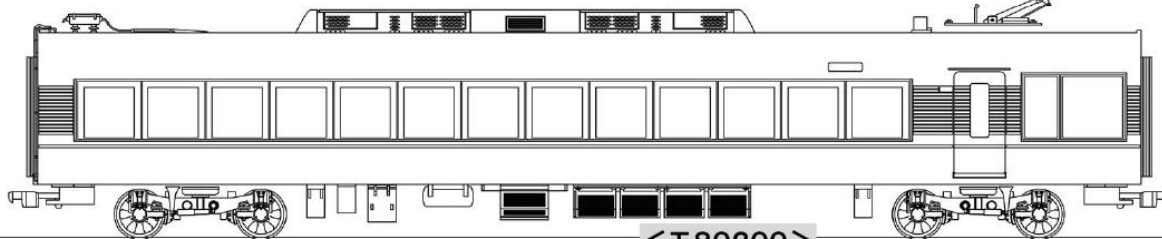
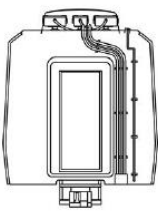


<ク80100>

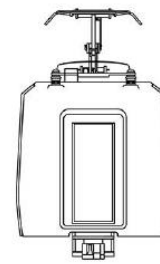


②前面<ロストワックス製>流線形の前面は「ロストワックスで製作」・前面ガラス「成型品ガラスを専門メーカーで製作」前面ロストと合わせて、その特徴ある姿を再現します。

③動力車<1・6号車のハイデッカー車に搭載>「ACEギア2750WG+EN22一般両軸モーター」にて「しまかぜ」同様、安定した走行を実現させます。



<モ80200>



<⑤参考:しまかぜ>

④クーラー<エッチング製+ロスト製(端部)>本体は「新規エッチング製」でシャープに仕上げます。⑤パンタグラフ 「しまかぜ」と同形の「PT7126」を2・3・5号車に搭載。

⑥台車<ダイキャスト製> 「しまかぜ」の台車を使用



<⑥参考:しまかぜ>



<④参考:しまかぜ>

本体エッチング製

端部ロスト製

KTM

近畿日本鉄道(株)商品化許諾申請中